

手書きの負担を軽減！

『書かない窓口』

始まっています！



町では、町民の皆さんの証明書交付申請時における手書き負担を軽減し、手続きの時間削減と住民サービスの向上を目的に、4月から「書かない窓口（申請書作成支援）システム」の運用を開始しました。

このシステムは、マイナンバーカード等の身分証明書を利用して、交付請求書に住所・氏名・生年月日を印字するもので、証明書を取得する際に手書きの負担が減りますので、ぜひご利用ください。

※申請書等の一部を印字するものであり、印字されない部分は追加記入をお願いする場合があります。

【操作方法】 総合案内窓口へ設置しており、職員がご案内・サポートします！

STEP①

タブレット端末から、対象の交付請求書を選択してください。（一度に複数の交付請求書を選択できます）



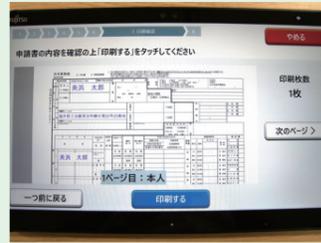
STEP②

タブレット端末の案内に従い、読み取り機に身分証明書を挿入してください。
※読み取りに20秒程度かかります。



STEP③

読み取られた情報が表示されますので、「次に進む」をタッチしてください。



STEP④

プリンターから氏名・住所等が印字された交付請求書が出力されます。身分証明書と一緒に窓口へ提出してください。



対象となる手続き

- 各種証明書／住民票関係（住民票の写し、住民票記載事項証明等）、戸籍証明関係（戸籍謄抄本等）、印鑑登録証明書、税関係証明書（所得証明書・納税証明書等）
- マイナンバー関係（マイナンバーカード交付・更新・暗証番号再設定等）
- その他（住民異動届、国民健康保険異動届） ※本人、同一世帯員発行のみ。（代理人での交付申請は手書きになります）

【対象とする身分証明書】 ※身分証明書の裏面記載も読み取り可能です。



役場に『行かない』窓口 **証明書はコンビニエンスストア等でも取得できます**

●取得できる証明書

住民票の写し／印鑑登録証明書／戸籍謄抄本（全部・個人事項証明書）／戸籍の附票の写し／所得課税証明書

●手数料

役場窓口よりも150円安くなります。（令和10年3月31日まで）

●取得できる時間

午前6時30分から午後11時まで
※年末年始（12月29日から1月3日まで）は利用できません。

●その他

利用にはマイナンバーカードと交付時に設定していただいた利用者証明用電子証明書の暗証番号（数字4桁）が必要です。



詳細はこちら

※お問い合わせ先 町まちづくり推進課DX推進室（担当・伊藤） ☎32-6701

わたしの夢、語ります

西村 慶仁^{けいじ}さん 美浜中央小学校 6年（南市）

プロ野球選手になるために

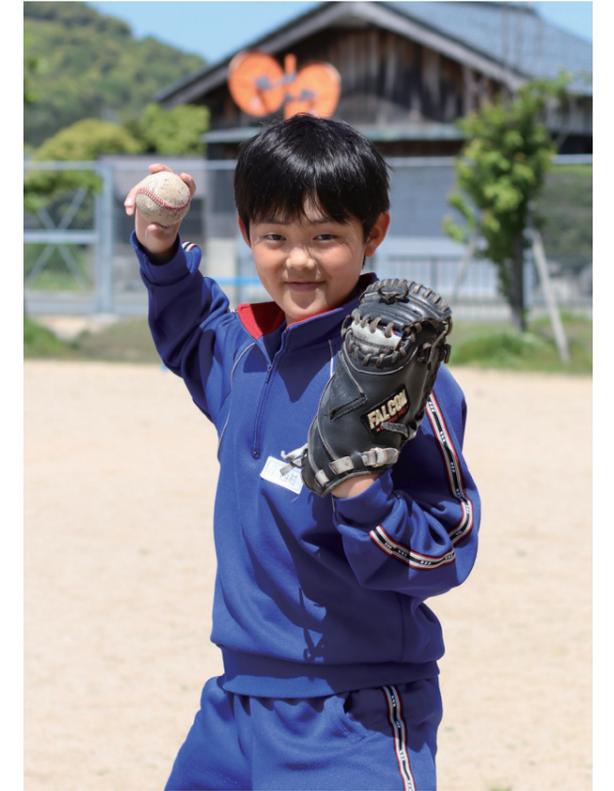
僕の夢は、プロ野球選手になることです。

理由は、小学2年生の頃から少年野球チームで野球をしていて、練習に一生懸命取り組むことが楽しいし、テレビで見たプロ野球選手のプレーがかっこよくて、僕もプロ野球選手のような野球がしたいと思ったからです。

ポジションはキャッチャーで、今は県大会に向けて週3回の練習と練習日以外では素振りや拳立て伏せ等のトレーニングをしています。

今以上にキャッチングやショートバウンドの処理がうまくなるように練習に取り組み、県大会ではベスト8に入れるように頑張ります。

そして、将来はプロ野球のチームに入って、活躍できる選手になるために練習を続けていきたいです。



CONTENTS 目次 広報みはま2025年6月号

- 2 わたしの夢、語ります／表紙の写真／目次
- 3 手書きの負担を軽減！『書かない窓口』始まっています！
- 4 美浜町にぎわい交流センター美浜^{これから}未来想作所まほらオープン
- 6 第37回美浜・五木ひろしふるさとマラソン
- 8 戸籍に氏名の振り仮名が記載されます！
- 9 みはまのまなび通信 特別号
- 10 まちウォッチング
美しい浜プロジェクトin水晶浜 / 早瀬子供歌舞伎 他
- 12 情報BOX
特設人権相談所を開設します / 緊急地震速報情報の伝達訓練を実施します 他
- 18 美浜発電所の状況について
- 20 すこやか放送局
- 21 ふるさと昔よもやま話157／文芸欄
- 22 ハートフル広場
はじめてバスデー／町人さん／慶弔／人口の動き／広報クイズ
- 24 ぐらしのカレンダー

- 表紙の写真 -



5月4日に弥美神社例大祭で行われた、県の無形民俗文化財に指定されている王の舞です。

舞い手は麻生地区が務め、赤い装束に鼻高の面と鳳凰の冠を身に付け、優雅に舞を舞っていました。

（関連第11頁）

美浜未来想作所 まほら オープン

5月8日に、美浜町にぎわい交流センターがオープンしました。本センターは、町のにぎわい創出を目的とする「まちなか交流拠点」をコンセプトに整備したものです。今月号では、本センターの概要や開所式の模様をお知らせします。

整備の目的と経緯

町では、JR美浜駅から町生涯学習センターなびあすまでのエリアを「にぎわいゾーン」と位置付け、美浜らしいにぎわいの創出を目的とした「みはまシナプスプロジェクト」に取り組んでいます。プロジェクトでは、これまで町民ワークショップや有識者会議等を通じて、にぎわいゾーンの在り方を探ってきました。その中で、にぎわいの創出に必要な「人づくり」「空間づくり」「コンテンツづくり」の3つのテーマを実現するため、にぎわい交流の拠点となる本センターを整備する運びとなりました。

にぎわいと学びの拠点に

本センターでは、幅広い世代や町内外の人と人を結ぶ交流拠点として、学びの提供を通じた関係人口の拡大を図っていきます。また、学びによる新たなにぎわい創出とまちの未来を担う人づくりとして、小中学生が探究学習に取り組む公設塾「放課後教室サン」や高校生が地域づくりを考える「学びコミュニティKai」の活動拠点となる他、商品開発等で利用できるシェアキッチンや交流室等も備えており、世代を超えたつながりや学びの場として活用していきます。



愛称

これから 美浜未来想作所 まほら

まほらは「素晴らしい場所」を意味する日本の古語で、人との縁や過去・今・未来のときをつなげる場所を表現しています。一瞬のひらめきやここで過ごすひと時が、多くの人にとって幸せの源となるような空間を目指します。

開所式を開催

4月19日に、開所式が町にぎわい交流センターで開催され、郷市区や福井大学、町内小中学校関係者等約50人が出席しました。

当日は、学びコミュニティKaiの高橋はるかさんと宮田桃羽さんが司会を務め、本センターの愛称が発表された他、放課後教室サンの模擬授業や学びコミュニティKaiの1期生で全国高校生マイプロジェクトアワード2024に出場した田邊来奈さんと中川世梨奈さんの発表が行われ、本センターの門出を祝いました。

※問い合わせ先

町まちづくり推進課
シナプスプロジェクト推進室
(担当：萩原/久木) ☎32・6701

<施設の概要>

コミュニティスペース(1階)



放課後教室サンの授業や学びコミュニティKaiの活動の場となる他、さまざまな人が交流する場として機能していきます。

交流室(2階)



交流を促す場として設けています。小規模なワークショップや交流会・座談会等、集える場となっています。

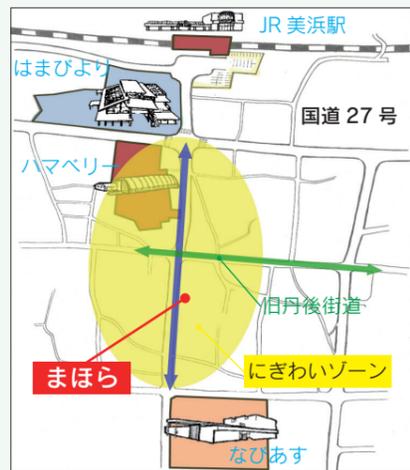
コワーキングスペース(※)(1階)

誰でも気軽に利用できるスペースとなっており、予約が空いていれば、いつでもご利用いただけます。

※さまざまな年齢、職種、所属の人たちが空間を共有し、仕事を行う場所



所在地：美浜町郷市 第27号16番地の1
構造：木造2階建て
面積：敷地 320.13㎡
延べ床 256.97㎡
開館時間：午前10時から 午後7時
休館日：土曜日、日曜日、祝日 年末年始 (12月28日～1月3日)
※上記以外に休館する場合、事前にお知らせします。



INTERVIEW



美浜町にぎわい交流センターの設計に携わった 福井大学 野嶋 慎二 教授

にぎわい交流センターから 町のにぎわいを

美浜町にぎわい交流センターの設計には、明るくて人が集まりやすい場所を作りたいという思いを込めました。センターの外観は、街並みの雰囲気との調和を図るため、美浜町の焼き杉を活用し、内観は、1階を一つの空間として使用でき、子どもたちの活動や講演会、展示会等、自由に使用いただけるつくりとなっています。

今後、放課後教室サンや学びコミュニティKaiの子どもたちもここにこのセンターを家のような気持ちで使ってください。将来、社会に羽ばたいていくことを期待しています。

子どもたちと一緒に地域の方々も使っていたら、このまほらから町を盛り上げていただければと思います。

INTERVIEW



たくさん交流して、新しいことにチャレンジしたい!

放課後教室 サン

中川 心美 さん (興道寺)

放課後教室サンでは、授業や活動を通じてさまざまなことにチャレンジして、新しい発見ができます。サンの活動では、今まで体験したことがなかった活動や、新しいことに挑戦ができて、とても楽しいです。

まほらが完成し、この場所を使って多くの人たちと交流できるようになると思うので、これからも新しいことにチャレンジしていきたいです。

INTERVIEW



町の人たちが関われる機会を作りたい!

学びコミュニティ Kai

高橋 はるか さん (日向)

学びコミュニティKaiでは、自分たちで考えたテーマに沿ってプロジェクトに挑戦したり、探究テーマの実践として町や団体のイベントに参加したりしています。

まほらの開所式では司会を務めさせていただき、貴重な経験となりました。私自身、人と関わるのが好きなので、これからまほらでたくさんの人と交流し、町の人と人が関われる機会を作りたいです。



ゴール救護所
若狭医療福祉専門学校の皆さん
左から ヨリさん ミアさん
メイさん ジェイさん
ボランティアを通して、現場での経験や知識を学びたいと思い参加しました。
素早く対応する必要性や医療の知識を学ぶことができ、これからの活動に生かしていきたいです。



今大会最高齢(88歳)でウォーキングの部に参加された
井口 和子さん(敦賀市)
五木ひろしさんが来られるということで、初めて参加しました。ウォーキング中に大橋や道路から見た海の景色がとても綺麗で、楽しかったです。できれば、来年も参加したいです。



記録 (敬称略) ※夫婦の部は、同距離部門に夫婦でエントリーし、2人の合計タイムで競う

部門	参加者数(人)	優勝者	タイム(分・秒)	部門	参加者数(人)	優勝者	タイム(分・秒)
10km29歳以下男子	120	岡 寛大 (敦賀市)	32:58	5km40歳以上女子	46	稲葉 恵里子 (三重県)	19:12
10km30歳代男子	98	寺嶋 誠二 (愛知県)	32:44	3km中学生男子	13	菊本 瑛太 (京都府)	9:41
10km40歳代男子	130	大辻 夏樹 (滋賀県)	34:18	3km中学生女子	10	野崎 真愛 (敦賀市)	11:06
10km50歳以上男子	309	遠藤 剛 (愛知県)	36:40	3km一般女子	54	倉谷 早希子 (若狭町)	11:52
10km39歳以下女子	20	寺嶋 詠美 (愛知県)	40:40	3km50歳以上男子	113	西谷 祐介 (福井市)	10:57
10km40歳以上女子	61	井野 光子 (大阪府)	36:54	1.5km親子の部	182	山岸 孝史・晃太郎(敦賀市)	6:27
5km29歳以下男子	106	嘉悦 響也 (愛知県)	16:52	1.5km小学生男子	34	西増 蒼真 (福井市)	5:39
5km30歳代男子	111	前原 孝弘 (敦賀市)	17:02	1.5km小学生女子	33	神農 果澄 (京都府)	5:29
5km40歳代男子	130	今西 智信 (京都府)	17:08	5km夫婦の部※	11組	山田 一政・ゆき江 (愛知県)	42:00
5km50歳以上男子	169	高橋 賢治 (三重県)	17:13	10km夫婦の部※	24組	寺嶋 誠二・詠美 (愛知県)	1:13:24(時・分・秒)
5km39歳以下女子	20	藤木 百合 (敦賀市)	27:14	ウォーキングの部	344	(計測無し)	

第37回 美浜・五木ひろしふるさとマラソン

5月11日に、第37回美浜・五木ひろしふるさとマラソンが丹生特設会場を発着点とした海岸線コースで開催され、全国各地から2,103人のランナーやウォーカーが参加しました。
午前8時30分から始まった開会式では、五木ひろしさんや町内外の来賓の方々、他、ゲストで演歌歌手の天童よしみさんと大江裕さん、2008年北京オリンピックの5000mに出場した小林祐梨子さんから参加者に激励の言葉が贈られました。当日は、早朝に小雨が降りましたが、レース時には青空となり、ランナーたちは風光明媚な海岸線コースで健脚を競いました。
大会は、10kmから1.5km、ウォーキングの全22部門に分かれて実施し、成績上位者には賞状やトロフィー、副賞が贈られました。
大会終了後は、五木ひろしさんとゲストの天童よしみさん、大江裕さんによるミニコンサートが開催され、観客からは大きな声援が送られていました。



第37回美浜・五木ひろしふるさとマラソン開催記念 五木ひろしふるさとチャリティコンサート

マラソン前日の5月10日に、「五木ひろしふるさとチャリティコンサート」が総合体育館で開催され、県内外から約1,200人の観客が来場しました。
コンサートは「こしの都」「面影の郷」で始まり、その後「夜明けのブルー」「よこはま・たそがれ」等、18曲を熱唱されました。
また、ゲストの天童よしみさんや大江裕さんによる熱唱の他、杉本達治福井県知事から五木ひろしさんへ福井県県民賞の贈呈が行われました。県民賞の贈呈は15年ぶり12人目で、五木さんは、1981年には県栄誉賞を受賞しており、初の両受賞者となりました。



↑五木ひろしさん(中央)と一緒に「ふるさと」を歌う天童よしみさん(右)と大江裕さん(左)

フリガナ 戸籍に氏名の振り仮名が記載されます！

令和7年5月26日に戸籍法改正が施行され、戸籍の記載事項に氏名の振り仮名が新たに追加されます。

これにより、氏名の振り仮名が公証され、官民間問わずさまざまなサービスにおいて本人確認資料として利用が可能となります。



■ 戸籍に氏名の振り仮名が記載されるまでの流れ

1 戸籍に記載する予定の振り仮名の通知

本籍地から、住民票に記載されている振り仮名情報等を参考に、戸籍で記載する予定の振り仮名を通知します。**通知書が届いたら、記載された通知の内容(氏や名の振り仮名)を必ず確認してください。**

特に、「ヤ・ユ・ヨ・ツ」等の小文字が大文字になっている場合があります。

■ 発送時期 令和7年7月(予定)

■ 対象者 美浜町本籍の方(基準日：令和7年5月26日)

※ 住所が美浜町で、本籍が他市町村の方は、本籍地の市町村から送付されます。発送時期は本籍地によって異なるため、各市町村のホームページ等をご確認ください。

■ 発送方法 通知書は圧着ハガキにより戸籍単位で郵送し、戸籍内で同じ住所の方は1通につき4人まで記載されます。戸籍内で別住所の方は住所地ごとに郵送します。

2 氏名の振り仮名の届け出(令和8年5月25日まで)

■ 通知に記載された振り仮名が正しい場合は、**届け出の必要はありません。**

届け出をしなくても、令和8年5月26日以降に、通知に記載された振り仮名がそのまま戸籍に記載されます。

■ 通知に記載された振り仮名が**誤っている場合は**、令和8年5月25日までに必ず**正しい振り仮名の届け出をしてください。**

3 市区町村長による氏や名の振り仮名の記載

令和8年5月25日までに届け出がなかった場合は、通知した氏や名の振り仮名を戸籍に記載します。

この場合、1回に限り氏や名の振り仮名の変更の届け出ができます。

※ 一度届け出た振り仮名を変更する場合は、家庭裁判所の許可が必要になります。



↑ 振り仮名通知書イメージ

■ 振り仮名の届け出の方法

● 届け出をすることができる方

【氏名の振り仮名の届】 原則として戸籍の筆頭者(筆頭者が除籍されている場合にはその配偶者、その配偶者が除籍されている場合には子)

【名の振り仮名の届】 本人(15歳未満の方は原則として親権者等の法定代理人)

● 届け出の方法

○住所または本籍地の市区町村の窓口や郵送

○マイナンバーカードをお持ちの方はマイナポータルを利用してオンラインでも可能です。



法務省ホームページ
はこちらから



町ホームページ
はこちらから

みはまのまなび通信

特別号

子どもたちの挑戦が 美浜の未来を拓く

町では、小学生から高校生までが地域と関わりながら学び、挑戦する活動が広がっています。小中学生の「放課後教室サン」に続き立ち上がった、町の高校生が主役の「学びコミュニティKai」。昨年度は高校生のプロジェクトが全国大会へ選出される等、子どもたちの挑戦が町に少しずつ変化をもたらし、子どもたちの姿に刺激を受け、大人たちの中にも新たな動きが生まれています。

子どもたちの声
・自分の意見を持ち、人前で話せるようになった。
・新しい経験や挑戦に向かう姿勢が育っている。
・町に広がる声
・地域のイベントでの子どもたちの主体的な活動の姿が増えた。
・子どもと大人が真剣に語り合う場が生まれた。
・子どもたちの挑戦を応援したいという声広がった。

今年度は、美浜で生まれた挑戦やそこから生まれた変化等を皆さんにお届けしていきます。

令和7年度、「みはまのまなび」スタッフに新たな仲間を迎えました。多様な視点を持った面白い人ばかり。フレッシュな力で美浜の学びと挑戦をさらに進化させていきます！

(スタッフ紹介)

- ・和田茉莉(埼玉出身)
- ・安重春奈(山口県出身)
- ・藤村祐希(千葉県出身)
- ・小林桃子(福井市出身)



和田茉莉(わだまり)プロモーションを担当。美浜の魅力をお伝えしていきます！どうぞ、お楽しみに！



～町に広がる笑顔～

町民の声 Voice

活動を通して町民の皆さんから「小中学生が堂々と意見を言う姿に感動した」「高校生の熱意に私たちも心を動かされています」等、応援の言葉をたくさんいただいています。地域全体で学びを育むことで、子どもたちは安心の土壌で挑戦できます。

このコーナーでは、町民の皆さんからの声をお届けしていきます。たくさんのお声をお待ちしています。

フリーコーナー Free Space

来月号よりサンやKaiの取り組み等を毎月発信していきます！少しでも興味を持たれたら、お気軽にお問い合わせください！



もこ ふじモン ぱるる わだまり

お問い合わせ

放課後教室サン
学びコミュニティ Kai 050-5482-3342
(担当：和田)

まちづくり推進課
シナプスプロジェクト推進室 32-6701
(担当：久木)



WEB INSTAGRAM YOUTUBE

みはまシナプスプロジェクトって？



JR美浜駅～なびあすを舞台に、3つのテーマをもとに「美浜らしいにぎわい」を育てるプロジェクトが進行中。

- 1 学びと挑戦を育む "人づくり"
- 2 優しい回遊空間を創る "空間づくり"
- 3 共創の軸線貫く "コンテンツづくり"



サンやKaiの活動も"人づくり"の一環。町の未来を、みんなで少しずつ形にしていきたいと思います。

※お問い合わせ先

法務省コールセンター
町住民環境課(担当：山本)

☎ 0570-05-0310
☎ 32-6703